ご　挨　拶

一般社団法人札幌地区サッカー協会
会　長　　山　脇　　栄

札幌地区サッカー協会９０周年
札幌地区フットボール１００周年に向けた環境の土台づくり　～ Road to 2033 ～

コロナパンデミックが国民生活を脅かした３年間。その間に多くの方が罹患し尊い命が失われた事を後世に語り継ぐ決意も新たな２０２３年。札幌地区サッカー協会は２０３３年の創立１００周年にむけて新たな一歩を進み始めております。

老若男女を問わず、全てのサッカーを愛する人々にサッカーを「する」「観る」「支える」「語る」喜びを提供し、安心してサッカーを楽しめるスポーツ文化の創造を目指し、地域に根付いた活動を進めていこうと始まった２０２２年度から早くも１年がたちました。コロナ感染対策を継続して開催してきた昨年度までの諸々の大会運営を今年度も安心して実施出来るように全力を挙げて取り組んでまいります。

札幌地区サッカー協会は昭和８年（１９３３年）に創立され今年は節目の９０周年を迎えました。残念ながらコロナ禍の下で記念事業実施への見通しが立たず準備を進めることが出来ませんでしたが、法人として今まで積み上げてきた実績と経験をもとに、まだまだ未熟な組織体制をはじめ改善すべき点を明確に把握し、より安定した信頼性の高い組織を構築し、来るべき１００周年に向けて準備委員会を組織する考えです。

少子化の影響は計り知れないものがあります。どの競技団体も競技人口の普及拡大に苦心し、課題山積の状況だと思います。サッカー協会も然りです。

当協会は今年度も北海道コンサドーレ札幌の松山光プロジェクトパートナー、エスポラーダ北海道のオフィシャルパートナーとなり、子どもたちの招待や前座試合への参加をはじめ、キッズ、女子、シニア層の拡大に努めてまいります。数多くの先輩方が脈々と続けてきたフットボール愛があって現在の隆盛があります。コロナパンデミックに屈しなかった様々な経験がウィズコロナ、アフターコロナの未来へつながると信じ、サッカーに携わる老若男女全ての人が互いにリスペクト『思いやり』の精神を忘れず、サッカーが出来ることに感謝し、来るべき１００周年を見据えて２０２３年度の活動を進めていきたいと思います。

札幌地区はもとより北海道のサッカー発展のため、ご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、全てのサッカー関係者の皆様のご健勝・ご多幸を祈念し、節目である９０周年の年度のご挨拶とさせていただきます。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

２０２３年６月